



2012年度第2四半期 決算説明資料

2012年10月31日

I . 2012年度業績見通し

- ・業績見通し サマリー 4
- ・業績見通し セグメント別 5

II . 2012年度第2四半期決算実績

- ・第2四半期決算実績 サマリー 7
- ・第2四半期決算実績 セグメント別 8
- ・税引前利益増減要因 9
- ・経常利益・特別損益 10
- ・第2四半期決算実績 セグメント別
 - 〈船舶・海洋〉 11
 - 〈原動機〉 12
 - 〈機械・鉄構〉 13
 - 〈航空・宇宙〉 14
 - 〈汎用機・特殊車両〉 15
 - 〈その他(冷熱、工機、その他)〉 16
- ・貸借対照表 17
- ・補足資料 18

I . 2012年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

(単位:億円)

	'11年度		'12年度		
	2Q実績	年度実績	2Q実績	今回見通し	12.7.31 公表値
受注高	14,031	31,888	10,052	31,500	34,000
売上高	12,936	28,209	13,254	30,000	30,000
営業利益	731	1,119	472	1,300	1,200
経常利益	456	861	304	900	800
当期純利益	398	245	191	500	400

【未確定外貨】

48億ドル (期首:59億ドル)
5億ユーロ (期首:7億ユーロ)

【前提為替レート】

1ドル = ¥ 80 (前回見通し: 80円)
1ユーロ = ¥ 100 (前回見通し: 110円)

(単位:億円)

	受 注			売 上			営業利益			
	'11年度 実績	'12年度見通し		'11年度 実績	'12年度見通し		'11年度 実績	'12年度見通し		
		12.7.31公表値	今回見通し		12.7.31公表値	今回見通し		12.7.31公表値	今回見通し	
船 舶 ・ 海 洋	2,620	2,500	2,500	3,116	2,400	2,400	△ 38	30	0	
原 動 機	12,352	12,300	10,500	9,553	11,000	11,000	923	750	900	
機 械 ・ 鉄 構	5,082	7,000	6,000	4,288	5,300	5,100	253	330	300	
航 空 ・ 宇 宙	5,478	5,600	6,000	4,959	4,800	5,100	△ 53	40	70	
汎用機・特殊車両	3,860	3,900	3,900	3,817	3,900	3,900	51	100	100	
そ の 他	冷 熱	1,605	1,700	1,600	1,599	1,700	1,600	14	20	0
	工 機	538	500	500	511	500	500	40	40	40
	そ の 他	795	800	1,600	833	800	1,600	106	80	80
そ の 他	2,939	3,000	3,700	2,944	3,000	3,700	161	140	120	
消去または共通	△ 445	△ 300	△ 1,100	△ 471	△ 400	△ 1,200	△ 178	△ 190	△ 190	
合 計	31,888	34,000	31,500	28,209	30,000	30,000	1,119	1,200	1,300	

Ⅱ. 2012年度第2四半期決算実績

(単位:億円)

	'11-2Q累計	'12-2Q累計	増減
受注高	14,031	10,052	△ 3,979
売上高	12,936	13,254	+317
営業利益	731	472	△ 259
経常利益	456	304	△ 152
特別損益	258	△ 26	△ 284
税金等調整前 四半期純利益	714	277	△ 437
四半期純利益	398	191	△ 207

受注高 ⇒対前年同期 △3,979億円減少 (14,031億円 → 10,052億円)

航空・宇宙部門、船舶・海洋部門が増加したものの、原動機部門、機械・鉄構部門が減少したことにより、前年同期を下回った。

売上高 ⇒対前年同期 +317億円増加 (12,936億円 → 13,254億円)

船舶・海洋部門、航空・宇宙部門が減少したものの、原動機部門、機械・鉄構部門、汎用機・特殊車両部門が増加したことにより、前年同期を上回った。

純利益 ⇒対前年同期 △207億円減少 (398億円 → 191億円)

円高の進行等による船舶・海洋部門での受注工事損失引当金計上や、前年同期に高採算案件が集中していた原動機部門の減益等により、純利益は前年同期を下回った。

(単位:億円)

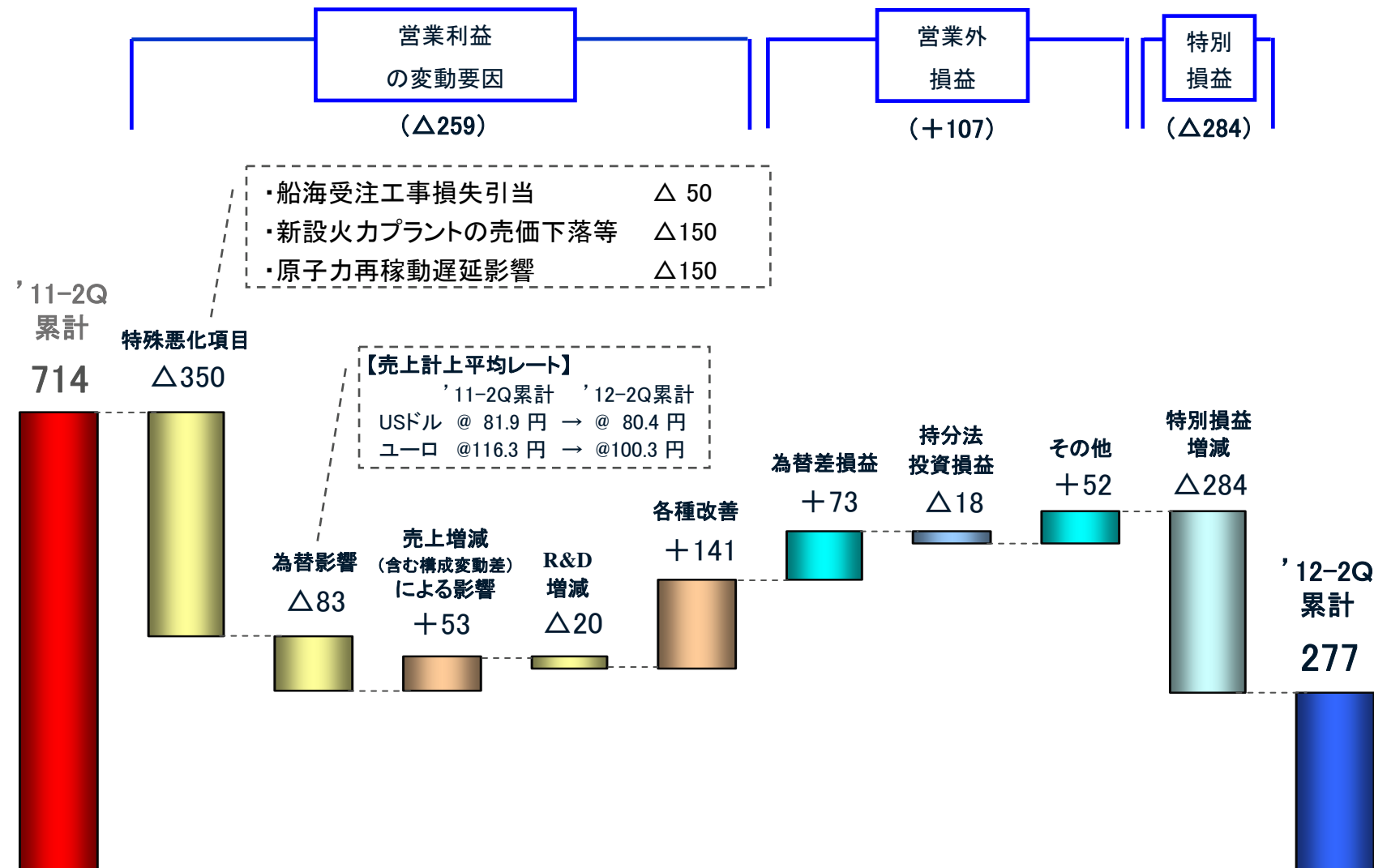
	受注			売上			営業利益			
	'11-2Q 累計	'12-2Q 累計	増減	'11-2Q 累計	'12-2Q 累計	増減	'11-2Q 累計	'12-2Q 累計	増減	
船舶・海洋	248	392	+ 144	1,584	1,326	△ 258	9	△ 63	△ 72	
原動機	6,492	2,989	△ 3,503	4,422	4,790	+ 367	650	436	△ 214	
機械・鉄構	2,886	1,970	△ 915	1,766	2,041	+ 275	70	76	+ 5	
航空・宇宙	1,306	1,586	+ 280	2,088	1,903	△ 184	△ 7	7	+ 15	
汎用機・特殊車両	1,747	1,816	+ 69	1,861	1,938	+ 76	12	49	+ 36	
その他	冷熱	877	787	△ 90	855	791	△ 64	21	△ 4	△ 26
	工機	311	226	△ 84	224	283	+ 58	13	22	+ 9
	その他	384	588	+ 203	339	795	+ 456	32	38	+ 5
消去または共通	△ 223	△ 306	△ 83	△ 207	△ 616	△ 409	△ 70	△ 90	△ 19	
合計	14,031	10,052	△ 3,979	12,936	13,254	+ 317	731	472	△ 259	

【営業損益の算定方法見直しについて】

新しい事業運営体制への移行に伴い、これまで各セグメントに全て配分していた全社基盤的な研究開発費や本社管理部門の費用の一部は、2012年度より各セグメントに配分せず、「消去または共通」の欄に記載しています。上表'11-2Q累計の営業利益もそのベースに組替え、表示しています。

対前年同期 $\Delta 437$ 億円減少 (714億円 \rightarrow 277億円)

(単位:億円)



経常利益（対前年同期 $\Delta 152$ 億円（456億円 \rightarrow 304億円））

（単位：億円）

	'11-2Q累計	'12-2Q累計	増減
営業利益	731	472	$\Delta 259$
営業外損益	為替差損益	$\Delta 179$	$\Delta 106$
	金融収支	$\Delta 68$	$\Delta 52$
	持分法投資損益	23	5
	その他	$\Delta 51$	$\Delta 15$
営業外損益	$\Delta 275$	$\Delta 168$	+107
経常利益	456	304	$\Delta 152$

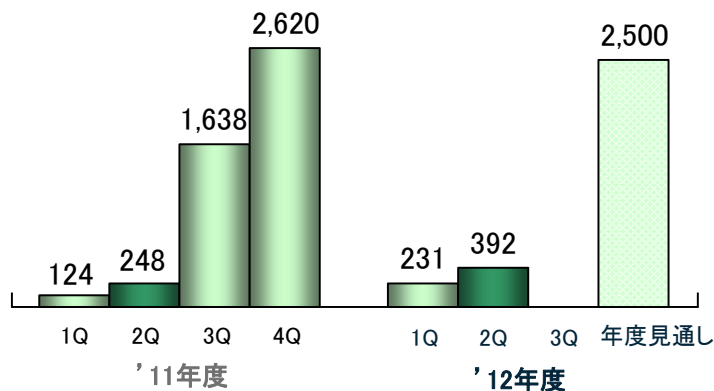
特別損益（対前年同期 $\Delta 284$ 億円（258億円 \rightarrow $\Delta 26$ 億円））

（単位：億円）

	'11-2Q累計	'12-2Q累計	増減
・固定資産売却益	280	-	$\Delta 280$
・投資有価証券売却益	-	68	+68
特別利益	280	68	$\Delta 211$
・投資有価証券評価損	$\Delta 22$	$\Delta 95$	$\Delta 73$
特別損失	$\Delta 22$	$\Delta 95$	$\Delta 73$
特別損益	258	$\Delta 26$	$\Delta 284$

(億円・各期の数値は累計)

受注



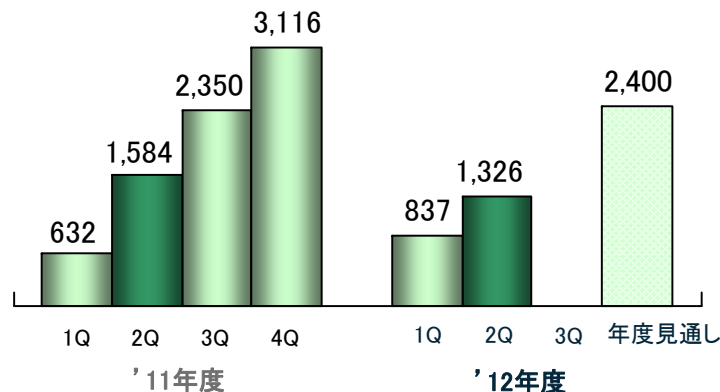
受注 : 対前年同期 +144億円の増加

- ・LNG船等の受注により、前年同期を上回った。
- ・厳しい受注環境ではあるが、LNG船や内航船の引合は増加しており、積極的な受注活動を行なう。また、エンジニアリングビジネスにも注力し、受注の積み増しを図る。

【受注隻数】

- ・'11-2Q累計 : 2隻 (1Q:0隻、2Q:2隻、3Q:4隻、4Q:6隻)
- ・'12-2Q累計 : 3隻 (1Q:1隻、2Q:2隻)

売上



【契約残隻数】 29隻

- (LNG船6隻、LPG船2隻、客船2隻、資源探査船2隻、コンテナ船2隻、自動車運搬船1隻、フェリー1隻、他)

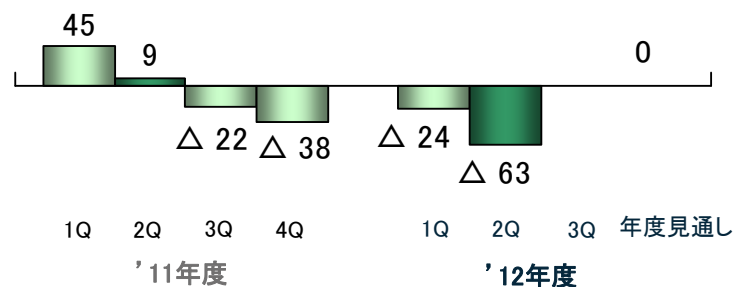
売上/損益 : 対前年同期 Δ258億円/Δ72億円の減収減益

- ・当期は、フェリー4隻、自動車運搬船3隻、巡視船2隻、LPG船1隻、RORO船1隻他、合計14隻を引渡した。

【引渡隻数】

- ・'11-2Q累計 : 14隻 (1Q:8隻、2Q:6隻、3Q:3隻、4Q:8隻)
- ・'12-2Q累計 : 14隻 (1Q:9隻、2Q:5隻)

営業損益



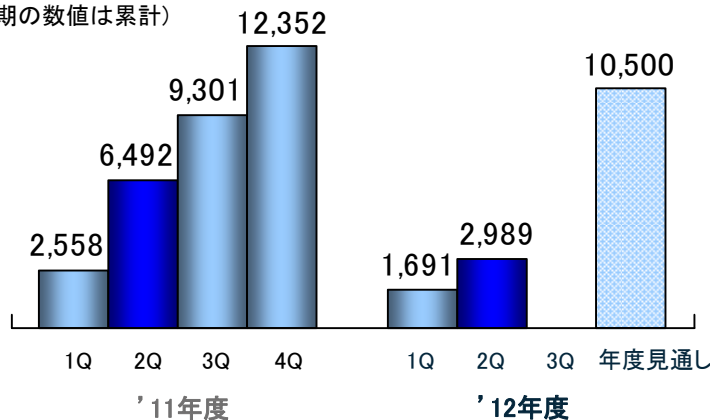
- ・損益は、円高の進行等による受注工事損失引当金の計上により、損失が拡大した。

年度見通し :

営業損益 : 30億円から0億円に修正

(億円・各期の数値は累計)

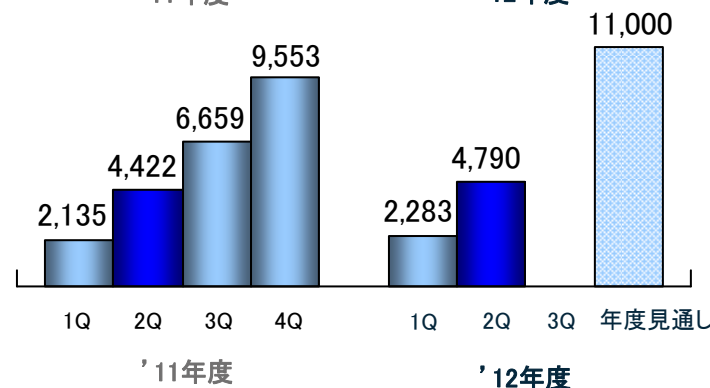
受注



受注 : 対前年同期 $\Delta 3,503$ 億円の減少

- ・前年同期に国内電力不足対応のガスタービンや台湾向け大型石炭発電プラントの受注があり、また、原子力発電プラントの定期検査工事等が減少したことにより、前年同期を下回った。
- ・アジア・中東では電力需要が旺盛であるが、北米市場の冷え込みを背景に競争が激化しており、引き続き鋭意受注活動を展開する。

売上



【ガスタービン受注台数】

- '11-2Q累計 : 10台 (北米3台、アジア2台、国内5台)
- '12-2Q累計 : 4台 (北米3台、アジア1台)

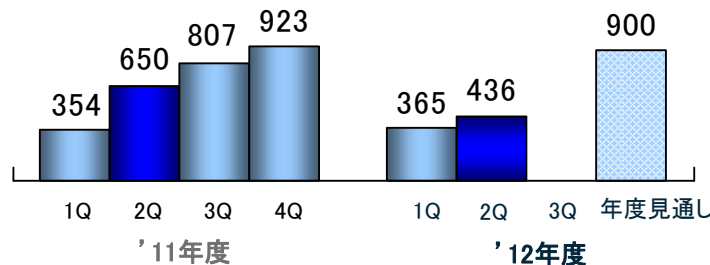
【ガスタービン契約残台数(単独)】

- '11-2Q末 : 54台 ('11年度末 : 62台)
- '12-2Q末 : 54台

売上/損益 : 対前年同期 $+367$ 億円/ $\Delta 214$ 億円の増収減益

- ・売上は、ガスタービンやコンベンショナルなどの火力発電プラントの増加により、前年同期を上回った。
- ・損益は、前年同期に高採算案件が集中していたことや原子力発電プラントの再稼働遅延による影響等により、前年同期を下回った。

営業損益

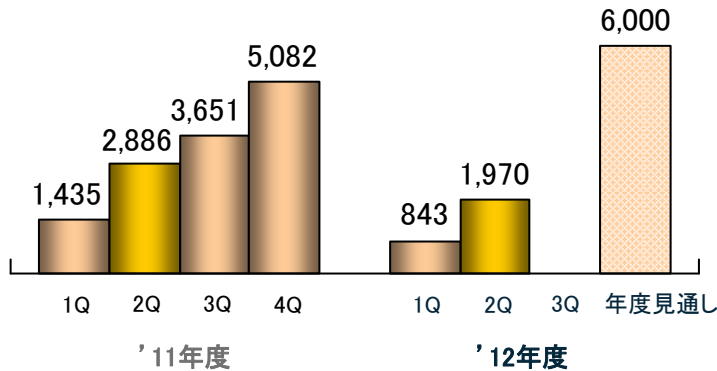


年度見通し :

- 受注 : 12,300億円から10,500億円に修正
- 営業損益 : 750億円から900億円に修正

(億円・各期の数値は累計)

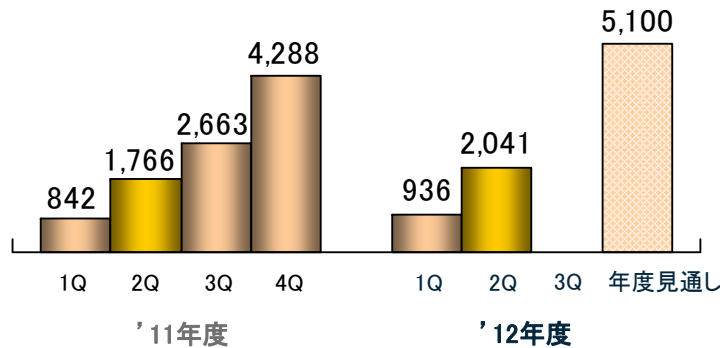
受注



受注 : 対前年同期 Δ 915億円の減少

- ・前年同期に受注規模が大きかった製鉄機械、化学プラントが減少したことなどにより、前年同期を下回った。
- ・海外向け交通システムや化学プラント、製鉄機械等の商談に積極的に営業活動を展開し、受注の積み増しを目指す。

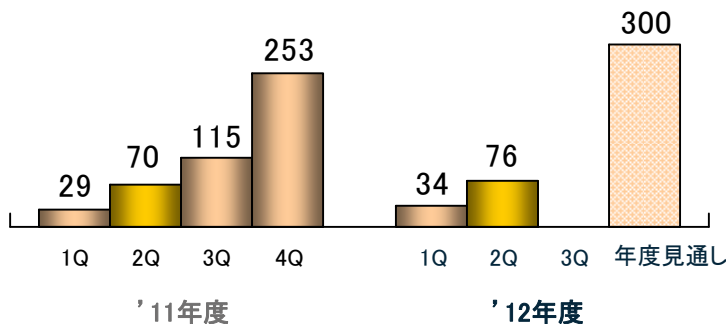
売上



売上/損益 : 対前年同期 +275億円/+5億円の増収増益

- ・売上は、化学プラント、製鉄機械、環境設備の増加等により、前年同期を上回った。
- ・損益は、売上増加により、前年同期を上回った。

営業損益

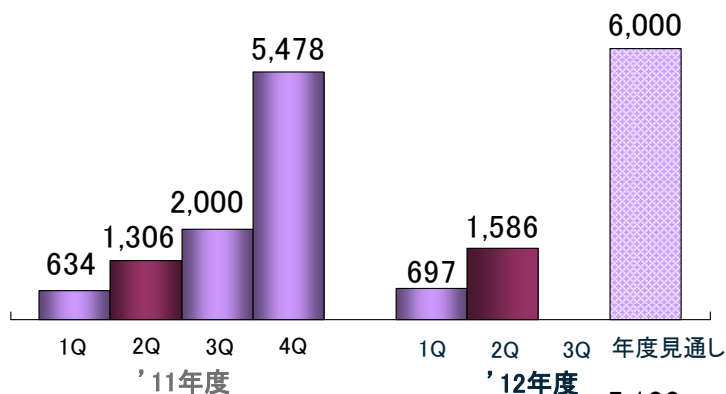


年度見通し :

- 受注 : 7,000億円から6,000億円に修正
- 売上 : 5,300億円から5,100億円に修正
- 営業損益 : 330億円から300億円に修正

(億円・各期の数値は累計)

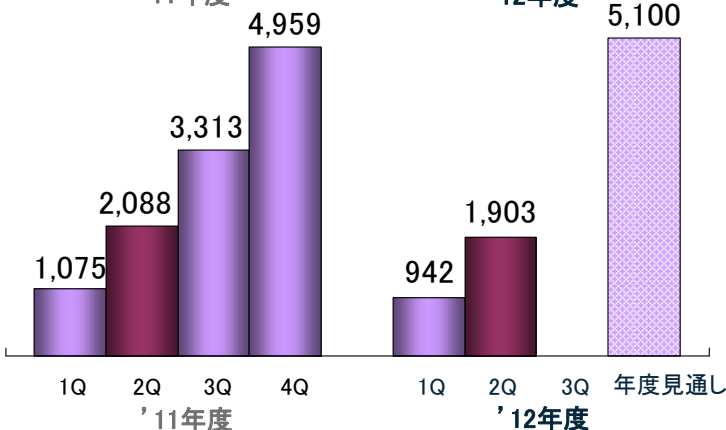
受注



受注 : 対前年同期 +280億円の増加

・防衛関係の増加により、前年同期を上回った。

売上



売上/損益 : 対前年同期 △184億円/+15億円の減収増益

・売上は、民間航空機、宇宙関係が増加したものの、防衛関係の減少により、前年同期を下回った。

【B777 引渡機数】

'11-2Q累計: 41機 (1Q:22機、2Q:19機、3Q:23機、4Q:19機)

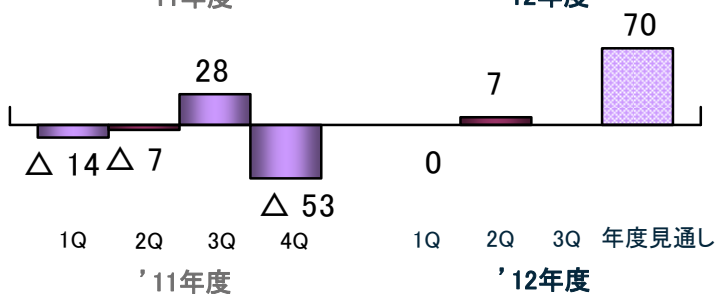
'12-2Q累計: 42機 (1Q:21機、2Q:21機)

【B787 引渡機数】

'11-2Q累計: 11機 (1Q:7機、2Q:4機、3Q:7機、4Q:9機)

'12-2Q累計: 22機 (1Q:11機、2Q:11機)

営業損益



・損益は、民間航空機の採算改善により、黒字化した。

年度見通し :

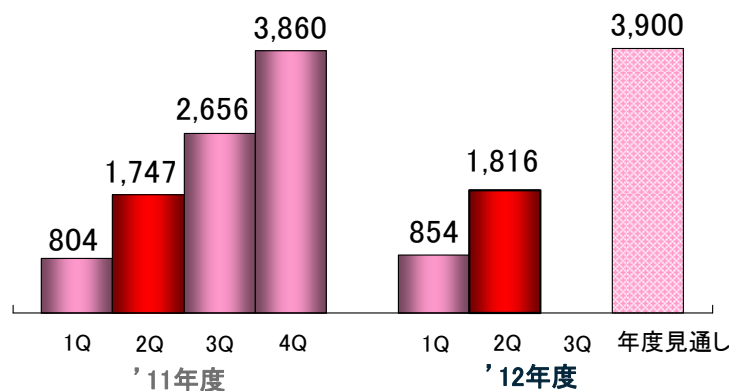
受注 : 5,600億円から6,000億円に修正

売上 : 4,800億円から5,100億円に修正

営業損益 : 40億円から70億円に修正

(億円・各期の数値は累計)

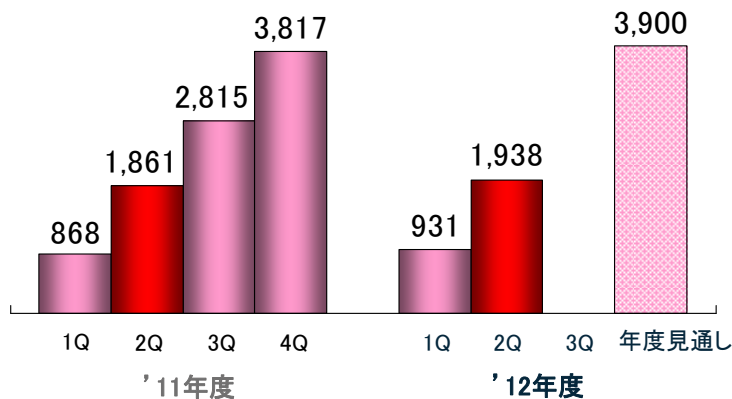
受注



受注/売上 : 対前年同期+69億円/+76億円の増加

・北米向けフォークリフトの増加等により、前年同期を上回った。

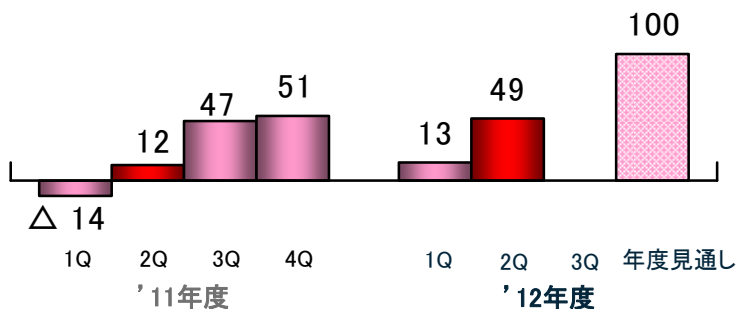
売上



損益 : 対前年同期+36億円の増益

・円高が減益要因となったが、フォークリフトの売上増加に伴う増益効果に加え、フォークリフト、ターボチャージャのコスト改善、エンジンの機種絞込等の採算改善活動により、前年同期を上回った。

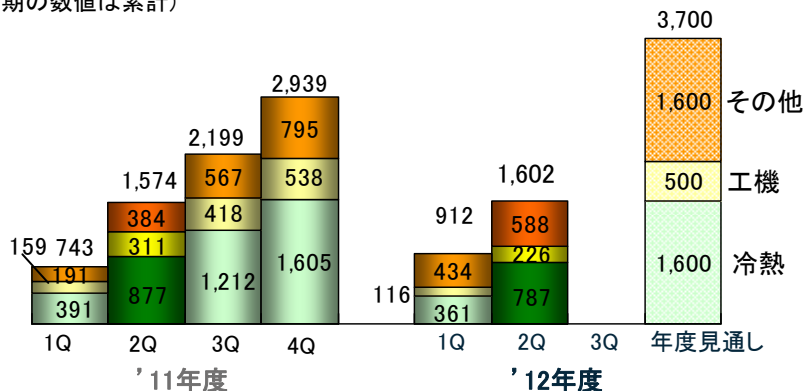
営業損益



第2四半期決算実績 セグメント別 <冷熱、工機、その他>

(億円・各期の数値は累計)

受注



冷熱

受注 : 対前年同期 △90億円の減少

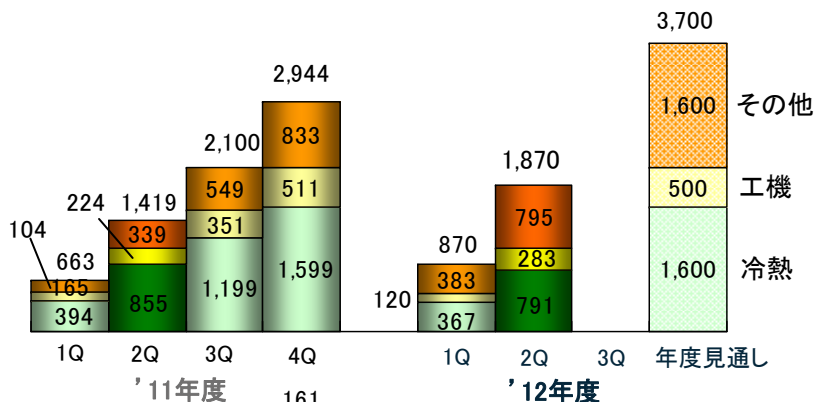
売上 : 対前年同期 △64億円の減少

・パッケージエアコン、ルームエアコンの減少により前年同期を下回った。

損益 : 対前年同期△26億円の減益

・円高の進行、売上減少により、前年同期を下回った。

売上



年度見通し :

受注 : 1,700億円から1,600億円に修正

売上 : 1,700億円から1,600億円に修正

営業損益 : 20億円から0億円に修正

工機

受注 : 対前年同期 △84億円の減少

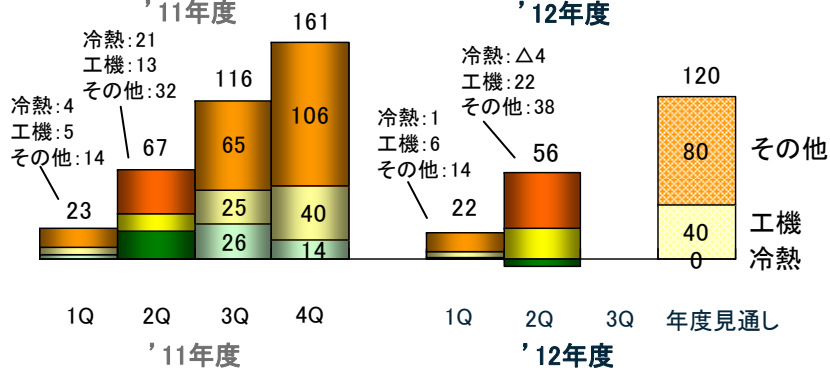
売上 : 対前年同期 +58億円の増加

・受注は前年同期を下回ったが、売上は歯車機械を中心に増加し、前年同期を上回った。

損益 : 対前年同期+9億円の増益

・売上増加による増益効果等により、前年同期を上回った。

営業損益



その他

・不動産・建設

・情報・通信サービス

貸借対照表

(単位:億円)

	'11年度末 ('12.3.31)	'12-2Q末 ('12.9.30)	増減
資産の部			
売上債権	9,680	8,049	△1,631
たな卸資産	10,534	10,335	△198
その他流動資産	6,174	8,039	+1,864
流動資産計	26,390	26,424	+34
固定資産計	13,249	12,537	△712
資産合計	39,639	38,962	△677
負債の部			
買入債務	6,511	6,160	△350
前受金	3,992	3,853	△138
その他流動負債	6,643	7,506	+863
流動負債計	17,146	17,521	+374
固定負債計	9,429	8,460	△969
負債合計	26,576	25,981	△594
純資産の部			
株主資本	12,866	12,957	+91
評価・換算差額等	△315	△488	△173
その他(少数株主持分他)	512	512	+0
純資産合計	13,063	12,980	△82
負債及び純資産合計	39,639	38,962	△677
有利子負債残高	11,571	12,067	+495

(1) 所在地別売上高・営業損益

(単位: 億円)

	'11-2Q累計		'12-2Q累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	11,880	666	12,082	347
北米	803	35	962	55
アジア	707	20	779	44
欧州	645	△ 6	645	23
中南米	82	14	42	1
大洋州	27	1	23	0
中東	-	-	0	0
消去または共通	△ 1,209	-	△ 1,282	-
合計	12,936	731	13,254	472

(2) 海外売上高

(単位: 億円)

	'11-2Q累計		'12-2Q累計	
アジア	1,715	(13%)	2,030	(15%)
北米	1,479	(12%)	1,681	(13%)
欧州	1,040	(8%)	1,103	(8%)
中南米	574	(4%)	636	(5%)
中東	392	(3%)	275	(2%)
アフリカ	276	(2%)	134	(1%)
大洋州	61	(1%)	123	(1%)
合計	5,538	(43%)	5,985	(45%)

(3) 減価償却費・設備投資額

(単位: 億円)

	'11-2Q累計	'12-2Q累計	'12年度見通し
減価償却費	599	557	1,200
設備投資額	537	574	1,200

(4) 研究開発費

(単位: 億円)

	'11-2Q累計	'12-2Q累計	'12年度見通し
研究開発費	440	414	1,400

研究開発費の12年度見通しは、1Q決算時公表値1,500億円から今回1,400億円に変更しています。



この星に、たしかな未来を